

——総選挙の結果と「建設的な野党」・日本共産党の役割について—— 「近所のみなさん、日本共産党です。」

総選挙の結果は、自民・公明政権へのキツパリとした審判となりました。

自民・公明の政治と真っ正面から対決してきた日本共産党は、政治を前に動かした今回の総選挙結果について、みなさんといっしょに、歓迎したいと思います。

今度の選挙で、日本共産党自身は得票数を増やして、九人の議席を守ることができました。ご支援いただいたみなさん、ありがとうございます。

今月半ばにも、新しい国会で首班指名が行われ、民主党を中心とした新しい内閣が作られようとしています。日本共産党は、「建設的な野党」として全力をつくす決意です。

「良いことには協力、悪いことにはキツパリ反対、問題点はただす」日本共産党といっしょに、暮らしと平和、民主主義の前進のために、力を合わせようではありませんか。

「近所のみなさん。」

日本共産党は、公約実現のために、民主党と一致できる問題については、積極的に提案し、協力をしていきます。

後期高齢者医療制度の廃止については、前の国会・参議院で、当時の野党が一致して、廃止法案を通じた実績があります。新しい国会で、一番に手がけてもよいのではないでしようか。

合わせて、世界的に見ても異常な、窓口負担を、なくしていく、そのために、当面七十五歳以上の高齢者と小学校卒業までの子どもの医療費を、国の制度として無料にしたら、どんなに喜ばれることでしょう。必要な財源は一兆三千億円です。

日本共産党は、評判のよくない高速道路の無料化に、一兆三千億円つぎ込むよりも、福祉優先で、高齢者と子どもの医療費の無料化こそ、実現したいと思います。

新しい国会に向けて署名運動もはじめますので、ご協力をよろしく願います。 みなさん。

障害が重ければ思いほど負担がかさむ、障害者自立支援法の応益負担をなくすことや、生活保護の母子加算を復活させることなど、人道上も一刻も早い対応が求められています。日本共産党は、民主党中心の政府が、これらに着手することを、強く要望します。

労働者派遣法の改正で、人間使い捨てをなくし、ヨーロッパのように、正社員で働くのが当たり前の社会をつくることは、切実な願いです。老後の生活を支える年金制度の抜本的な改革や、高校授業料無償化など教育費の負担軽減も待たれています。日本共産党は、これらの公約実現に向けて、国会外の運動も進めながら、みなさんといっしょに政府を動かしていく決意です。ご協力をよろしく願います。

「近所のみなさん。」

民主党の危険な政策が具体化されないようにすることは、「建設的な野党」・日本共産党の大事な仕事です。

無駄づかいをなくすと称して、衆議院比例定数を八十も減らすのは、民主主義に逆行することだというのは、明らかではないでしょうか。実際、今回の選挙をみても、民主党は、他にもない小選挙区の方で、四七%の得票で七四%もの議席をとりました。多様な民意を議席に反映できるのが比例選挙ですから、その数を減らさせるわけにはいきません。

憲法九条改定についても、今度の選挙で、新憲法制定議員同盟に属していた議員が、中山太郎氏をはじめ大量に落選したことからもみても、国民の民意でないことは明らかです。

財源問題で消費税増税が狙上(そじょう)にのぼろうとしています。軍事費と、大企業・大資産家優遇にメスを入れれば、消費税増税の必要はありません。

新しい国会と政府に向けて、大いに声をあげ、運動を広げていこうではありませんか。